

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
農集排	02	01	02	824160	浄化槽事業(特定地域生活排水処理整備)	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-2 生活基盤の充実				
	施策	6 汚水の適切な処理				
目的	公共用水域の水質保全と生活環境および公衆衛生の向上					
対象	住宅散在地域 (公共下水道、農業集落排水、コミュニティプラントによる集合処理区域外)					
意図	水洗化向上のため、浄化槽整備を普及促進する。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<p>■浄化槽市町村整備推進事業（市設置型）</p> <p>➢集合処理全体計画区域外において、浄化槽設置申請者の所有地に浄化槽本体を市が設置し、維持管理を行う。</p> <p>■市設置型浄化槽についての広報周知活動</p> <p>➢市ホームページに掲載（常時）</p> <p>➢市広報誌に内容掲載（2回/年）</p>						
市民参画の有無 [ 対象外 ]						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	実行委員会・協議会 補助・助成	事業協力・協定 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	市設置型浄化槽の設置基数	基	計画	100	80	
			実績	67	72	
②	市広報誌への掲載	回	計画	2	2	
			実績	2	2	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	浄化槽普及率	%	目標	11.5	12.0	
			実績	11.0	11.1	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
■平成28年度から水洗化支援制度を拡充し、説明会等により市民への周知を図った成果と考えられる。		
目的妥当性	<p><b>公共関与の妥当性</b></p> <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	➢定格の浄化槽を設置することにより、均質な処理機能が確保されている。
有効性	<p><b>成果の向上余地</b></p> <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない	➢目的を達成するための事業としては有効であると考えられるが、整備の促進については、個人の意向に左右されることから、成果の向上余地はない。
効率性	<p><b>事業費・人件費の削減余地</b></p> <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	➢国庫交付金を活用するなど、設置費用を必要最小限としているため、事業費の削減余地はない。 ➢事務処理内容が、設置工事の設計積算や事業分担金等の賦課徴収であるため、外部委託等による人件費の削減余地はない。
公平性	<p><b>受益と負担の適正化余地</b></p> <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	➢受益機会については、集合処理区域外の一般住宅等へ均等に確保されている。 ➢費用負担については、集合処理区域の受益者と同等水準と考えられるため、適正と判断される。
総合評価 …上記評価結果の総括		
■目的を達成するための整備手法として、個別処理施設は集合処理施設より建設費用が経済的であり、即効性も高いことから、積極的に浄化槽の普及促進を継続する必要がある。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業ID	事業名
農集排	02	01	02	824160	浄化槽事業(特定地域生活排水処理整備)

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		113,058	122,434		9,376
財源内訳	国・県	18,622	24,445		5,823
	地方債	81,500	84,100		2,600
	その他	12,910	13,860		950
	一般財源	26	29		3

事業期間	単年度繰返	○	期間限定	[平成 28 年度 ~ 平成 32 年度]
------	-------	---	------	-----------------------

部経営方針における目標  
公共用水域の水質保全と生活環境および公衆衛生の向上

事業開始の背景・経緯  
住宅散在地域（公共下水道、農業集落排水、コミュニティプラントによる集合処理区域外）を対象に、浄化槽による汚水の適正な処理を推進するため。

事業概要  
**■浄化槽市町村整備推進事業（市設置型）**  
 > 集合処理全体計画区域外において、浄化槽設置申請者の所有地に浄化槽本体を市が設置し、維持管理を行う。  
**■市設置型浄化槽についての広報周知活動**  
 > 市ホームページに掲載（常時）  
 > 市広報誌に内容掲載（2回/年）

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

■浄化槽市町村整備推進事業（市設置型）においては、設置工事が長期間となることから、申請者の建築工程との調整が困難な状況も散見されている。また、市の財政負担および事務処理が増大しているため、市民ニーズを考慮した効率的な整備方針の検討を行っている。

担当部署 部名 建設部 課名 下水道課 担当係長 高橋 春美 内線 557  
(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

戸別浄化槽施設工事費 [15.01.021]

人槽	地区	基数	唧筒	総事業費	基準額	交付基本額	事業分担金	工事分担金
5人槽	花巻	15	7	50,804	882	29,106	4,290	1,800
	大迫	2						
	石鳥谷	5	1					
	東和	11	1					
	計	33	9					
7人槽	花巻	14	3	64,203	1,104	39,744	5,400	1,600
	大迫	9						
	石鳥谷	6	3					
	東和	7	2					
	計	36	8					
10人槽	花巻	1	1	7,427	1,495	4,485	570	200
	大迫							
	石鳥谷	2						
	東和							
	計	3	1					
集計	花巻	30	11	122,434		73,335	10,260	3,600
	大迫	11						
	石鳥谷	13	4					
	東和	18	3					
	計	72	18					

[事業分担金] (5人槽) 130/基 (7人槽) 150/基 (10人槽) 190/基  
[工事分担金] (唧筒) 200/基

総事業費	財源内訳				
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
122,434	24,445		84,100	13,860	29

[国費] = 交付基本額 × 1/3

年度間調整	+2,610
-------	--------